

め、無観客で行いました。



## 管弦楽の生演奏で人権を学ぶ

ともに支えあう豊かな未来を創ろうと、12月6日に広瀬中央交流センターで「人権フェスティバルつなげて未来や2020 in ひろせ」を開催しました。

ステージでは、講師のイタリア生活文化交流協会の松本城洲夫さんによる人権トークと、管弦楽グループ「アンサンブル・サビーナ」のコンサートを行いました。モーツァルトのクラシック曲や、アメリカのゴスペル曲などの演奏と、トークを交互に展開。松本さんは、楽曲の成り立ちや時代背景を人権の観点からスライドで解説しました。当日の様子は、人権啓発のため、どじょっこテレビで放映しました。



## 青パト隊出動

### 市長日記

歳末の犯罪や交通事故の防止を図ろうと、歳末特別警戒出発式が12月1日、安来警察署で行われました。私も安来市防犯協会会長として式に出席しました。同署員や市内青色防犯パトロール隊6団体など約50人が出席され、同パトロール隊を代表して河場かね子隊長が決意表明をされました。

その後、関係車両約30台が防犯や事故防止に向け出発。隊員の皆さまが出動する様子を見ると、「安全なまちにしたい」という信念を持ちながら活動さ

# だっん どじょっこ



まちの話題や出来事をご紹介します



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック(FB)」で公開しています。



11月21日～23日に行われた島根県ミニバスケットボール大会で優勝した安来MBCの皆さん。市長に優勝の報告をしました。

(12月14日：市役所安来庁舎)

今月の一枚



◀ 出発式で、決意表明する伯太青色パトロール隊の河場かね子隊長。

れていることが伝わってきました。

防犯活動を展開する同パトロール隊による街頭活動や、登下校時における子どもの見守り活動などは、地域の治安維持の基盤づくりに大きく貢献しています。

今後とも、パトロール隊の皆さまには、地域ボランティアのリーダーとして、地域の安全安心の実現に向けた防犯活動を推進していただきますようお願い申し上げます。



市長 田中武夫

副会長(右)が市長に受賞を報告。



## 農業振興部門で大塚地区表彰

ほ場整備に取り組んでいる大塚地区基盤整備推進協議会が、農業農村整備優良地区コンクールで「全国水土里ネット会長賞」を受賞しました。

同コンクールは、ほ場整備などの事業を行い農業経営を積極的に取り組む地区を表彰する制度。同協議会は、ほ場整備をきっかけに「おつか営農組合」を設立。県内2例目となるSGS（ソフト・グレイン・サイレージ：飼料用米）製造や市内で初めてとなるJGAP認証（適切な農業管理の基準）を取得した点などが評価されました。

## 自分だけのリースづくり

季節の催しを通じて一風亭に親んでもらおうと12月5日、「クリスマスリースづくり in 一風亭」が行われました。参加者はリースの土台にヒノキの葉や松ぼっくり、リボンなどをつけてオリジナルのクリスマスリースを作成。飾ったときのバランスなどを考えて、いろいろな角度からリースを見ながら仕上げていきました。

初めて参加した深田愛さん（11歳）は「上手く作ることができました。家で飾って楽しみたいです」と話していました。



色合いなども考えながらきれいに作っていました。

## 高校生向けに漫画で啓発

ボランティア活動の大切さを伝えようと12月に情報科学高校と安来高校で、地域活動や社会貢献の必要性を漫画にしたパネルを展示しました。

物語は、捨てられていたレジ袋をハクチョウが誤飲したというニュースを見た高校生がまちのゴミ拾いを始めるというもの。自分たちが行う地域や自治会活動が周りの人を喜ばせ、自分自身の成長にもつながるということが分かる内容となっています。

漫画は、市とやすぎボランティア団体ネットワークが安来市出身の漫画家「柏屋ココ」さんに依頼して作成しました。

高校生。昇降口に設置された漫画を読む



セルフでお茶やコーヒーを入れて楽しめます。

## ふらっと立ち寄れるカフェ

地域の人の居場所づくりをしようと「ふらっとカフェ」がこのほど、旧奥野邸（伯太町母里）で始まりました。母里生活支援協議体が企画し、毎月1回開かれるこのカフェは、地元の人が気軽に来てお茶を飲みながら話ができる場。誰もが「ふらっと」寄って、「フラット」に話ができる場所になると名付けられました。

同協議体の安部山隆<sup>たかし</sup>会長は「家に引きこもっている高齢者が多いと感じ、このカフェを開くことになりました。感染症対策をして皆さんに使ってもらえる場にしていきたいです」と話していました。

